

# タイの政策概要

## ■ 政策枠組

### 総合計画

- ・ プラスチックごみ管理ロードマップ<sup>①</sup> (2018-2030年) (詳細①)
- ・ 国家海洋プラスチック戦略 (準備中)

### 基本法制度 拡大生産者責任 (EPR)

- ・ 国家環境質保全・向上法(1992)、タイ国廃棄物管理マスタープラン(2016-2021)等
- ・ 3R促進を目的としたEPRと循環経済を目指す法規制を整備中

## ■ 資源循環

### リデュース

2022年までに一部プラスチック製品を禁止  
(プラスチックごみ管理ロードマップ)

### リユース リサイクル

2027年までのプラスチックごみ100%のリユース実施及び2022年までに一部プラスチックの50%リサイクル実施

### マイクロ ビーズ

2019年までのマイクロビーズ製品の禁止  
(プラスチックごみ管理ロードマップ)

### 代替素材

民間企業との連携でバイオプラスチック素材の開発推奨 (プラスチックごみ管理ロードマップ)

### 公共調達

グリーン公共調達制度が整備され、対象品目をリスト化

## ■ 適正処理

### 廃棄物処理 体制

2021年までに一般廃棄物75%以上を適切に処理を目標 (タイ国廃棄物管理マスタープラン: 2016-2021) ※2018年時点で73%達成済み

### 流出防止

特筆すべき国家的流出対策なし  
※ごみ管理システムの改善と徹底が必要、現状では不適切なごみ処理がプラスチックごみの環境への流出につながっている

### ごみ回収

- ・ 24県でクリーンアップ事業実施: 回収された33トンのごみのうち65%がプラスチック
- ・ ダイバーによる海中ごみ回収など

## ■ 横断的取組

### 技術開発

プラスチックごみ削減のために、プラスチックの循環利用を可能にする技術を追求。

### 普及啓発 官民協力

官民連携パートナーシップ (PPP Plastic) は2027年までに海洋プラスチックごみを50%削減を目標

### 科学的知見 の蓄積

- ・ 海洋ごみの状況に関する調査とデータベースの作成
- ・ コロナを受け、フードデリバリーサービスにおけるプラスチック廃棄量の調査実施

### 国際協力

世界銀行、アジア開発銀行、GIZなどの国際機関と協力し、海洋プラスチックごみの削減に取り組むための国際協力プログラムを推進

# ①タイ：プラスチックごみ管理ロードマップ（2018-2030年）

海洋プラスチックごみに積極的に取り組むタイでは、関連する国家戦略、ロードマップ、活動計画などを打ち出している。プラスチックごみ管理ロードマップは、対象となるプラスチックの使用を削減又は中止し、2027年までに、対象となるプラスチック素材の100%再利用を目標に掲げている。

策定年・期間 2019年4月承認

## 目標等

- 2019年までに、プラスチックボトルのキャップ又はシール、オキシ・プラスチック製品、マイクロビーズ製品の禁止
- 2022年までに使い捨てプラスチックのフェーズアウトを目標（行動計画フェーズI：2020-2022）：  
厚さ36ミクロン未満のビニール袋、発砲スチロール食品容器、100ミクロン未満の使い捨てプラスチックコップ、プラスチックストローの使用停止
- 2022年までに7種のプラスチックごみ（厚手のポリ袋、プラスチックボトル、食品容器、フィルム包装、厚手のカップ、プラスチックの蓋）の50%リサイクルを達成
- 2027年までに、プラスチックの100%再利用（リユース）を実現

## 対策

- バイオ分解素材のプラスチックを利用する小売業者の税補助制度の導入
- 使い捨てプラスチック製品およびパッケージに対する課税措置の導入検討

## 実績

- 2018年4月以降、飲料水販売業界で80%のシェアを占める大手企業5社が、プラスチックボトルのキャップ及びシールの利用を中止。
- 2020年1月よりレジ袋及びマイクロビーズ製品の禁止が施行。